

御承知いただきたい事項

弘前大学教育学部附属小学校
弘前大学教育学部附属小学校父母と教師の会

- 1 本校は、弘前大学教育学部の附属小学校として、教員養成に関わる教育実習の指導及び小学校教育の実証的研究を教育学部と協同で行う学校です。特に、教育学部生が行う教育実習は、年間およそ10週間にわたります。したがって、公立小学校と比べて、多様な教育環境の下で小学校生活を送ることになり、お子様にとって自学自習の意識の向上がより求められます。また、御家族の皆様の御理解と温かい御支援が必要です。
 - 2 本校では「自ら考え自律的に行動する子」の育成をめざしています。自分の頭で考え、対話し、折り合いを付けながら仲間と共に成長することを大事にしています。過保護や過干渉になることなく、お子様が自ら考え、行動できるよう御支援いただきます。また、御自分のお子様だけでなく、本校児童全員を温かい目で見守っていただくようお願いしております。
 - 3 研究校として、複式学級を設置しています。新一年生は、単式学級32名（2クラス）、複式学級8名（1クラス）の定員72名となります。
 - 4 本校では、全員参加型のPTA活動を行っております。入学に当たり保護者の皆様には、父母と教師の会々員となつていただきますようお願いしております。また、積極的な御協力と御参加をお願いしております。
 - 5 研究校であることから、文部科学省や教育学部教員からの依頼をはじめとして、学術的な研究や調査等の対象になることがあります。また、研究紀要や研究発表スライド等にお子様の写真が掲載されたり、ノートや作品等が掲載されたりすることがあります。
 - 6 学校行事は、教育活動の一環として行っています。児童の活動を最優先して計画及び実行しております。児童個人の事情や御家庭の事情による要望には応じかねます。
 - 7 研究や会議等の時間確保のため、長期休業中や放課後等の教育課程外の学習等はいりません。
 - 8 本校には特別支援学級はありません。また、学習支援員等の配置予定もありません。個々の特性に応じた配慮は基本的に学級集団や学年集団の中で行います。
 - 9 児童一人に一台のタブレット端末を貸し出して学習に使用します。また、家庭に持ち帰り、家庭のWiFiに接続して使用することがあります。タブレット端末やインターネットは便利である反面、危うい面も持ち合わせているため使用方法について各家庭の協力が必要です。
 - 10 本校児童は、広域から様々な交通手段で通学しております。共用駐車場スペースが狭いため、徒歩やスクールバス、路線バスを利用しての自力での登校をお願いします。
 - 11 行事等に当たって、学園町キャンパスに駐車スペースを十分に確保できないため、自家用車での御来校を御遠慮いただくことがあります。また、冬期間は積雪のため、学校までの道幅や共用駐車場のスペースがかなり狭くなります。
 - 12 諸費用は、指定された期日に所定の銀行口座からの自動引き落としとなります。指定された期日には必ず引き落としできるように御準備ください。引き落としができない場合の事務手続き等に時間と手間がかかりますので、御理解・御協力ください。なお、やむを得ない事情がある場合は、事前に学校へ連絡をお願いします。なお、附属学校の特性から、他の公立学校より諸経費の負担は多くなります。
- ※ 本校の外郭団体として、「弘前大学教育学部附属小学校 後援会」があります。在校生の御家庭を中心として寄付金を募り、運営されております。主な使途としては、学習活動への補助（校外学習バス代、各行事にかかる教材費用、水泳学習費、スキー学習費等）、教育環境整備、公開研究会補助をはじめとする教育研究補助、卒業記念品費等があります。